

令和7年度 県政モニターアンケート調査結果

テーマ：資源の有効利用について

【調査の目的】

日本国内では、規格外品や売れ残り、食べ残しなど、本来食べられるにもかかわらず捨てられてしまう「食品ロス（フードロス）」が年間464万トン発生しています。これは、国民一人当たりで換算すると、毎日おにぎり1個分（102g）の量を捨てている計算になります。

本県では、この食品ロスの削減のため、平成28年度から事業者や県民の皆様と行政が一体となって県民運動として取り組んでいます。

また、海洋プラスチックごみ問題を背景に、本県では、ワンウェイ（使い捨て）プラスチックの使用削減やプラスチック代替品の利用促進などに取り組んでいます。

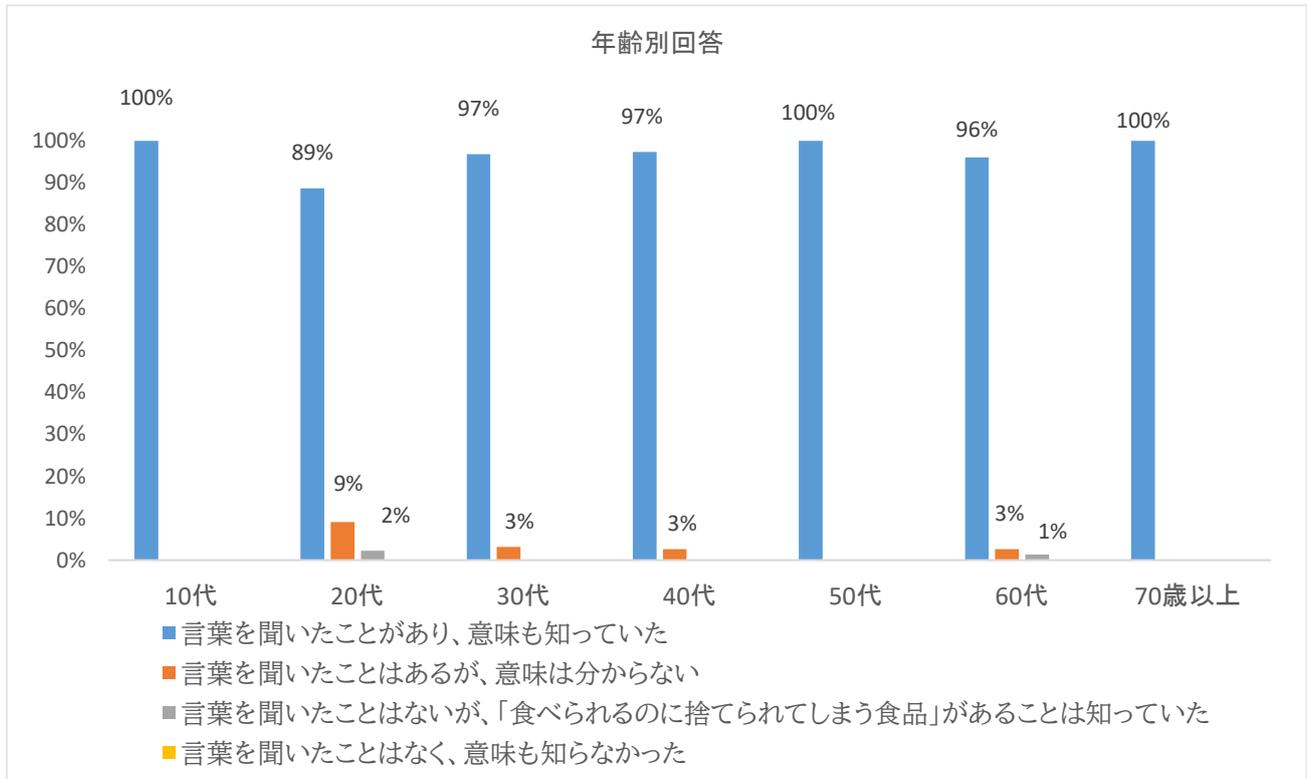
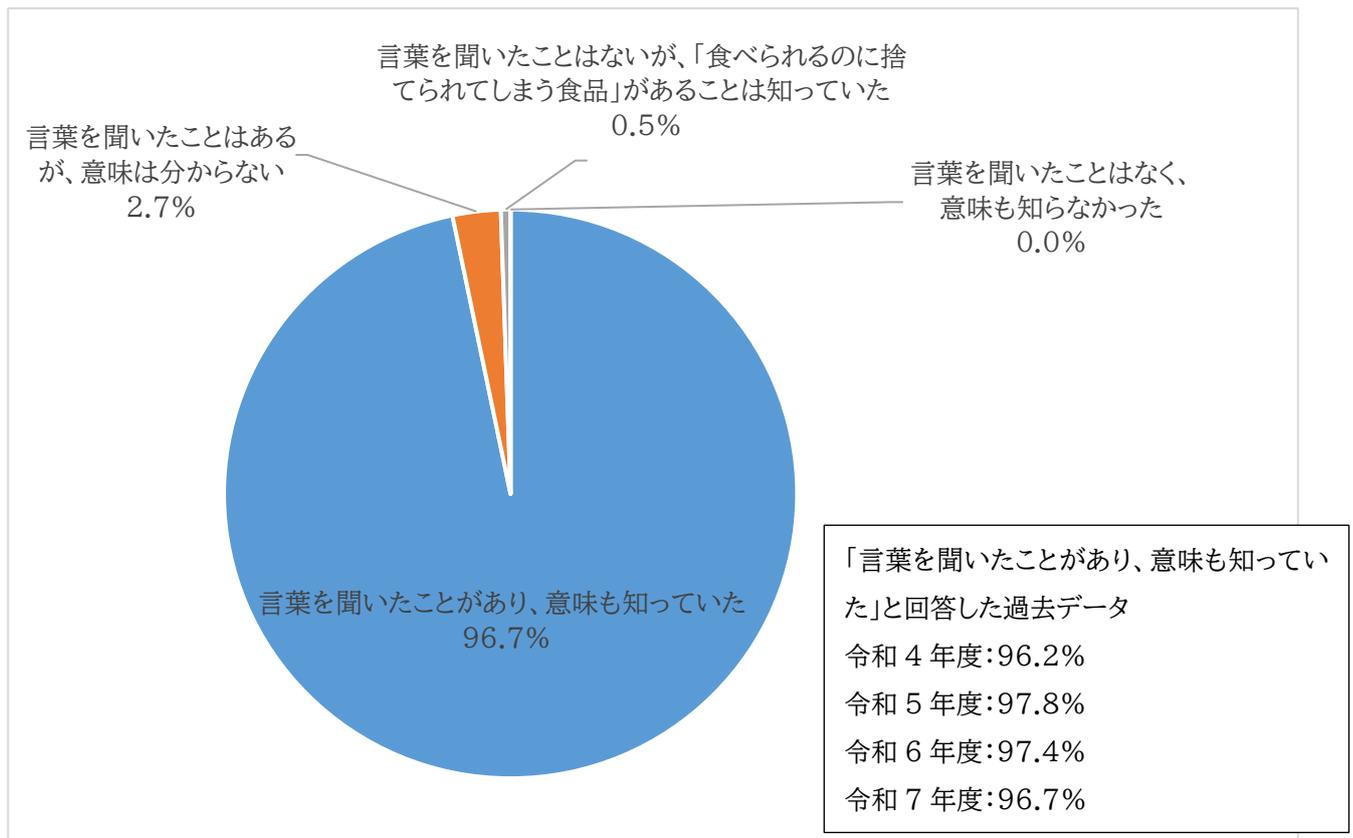
プラスチック代替品の利用促進にあたっては、まず、プラスチック代替品にはどのようなものがあるのか、なぜ環境に優しいのかを知ってもらうことが必要であり、次のステップとして、環境に配慮した商品を選ぶという意識の醸成を図っていく必要があると考えております。

つきましては、食品ロス削減やプラスチック代替品に関して、皆様の御意見をお聞かせいただき、今後の行政施策の参考とさせていただきます。

(環境部循環型社会推進課)

問1 「食品ロス（フードロス）」という言葉について聞いたことがありますか。

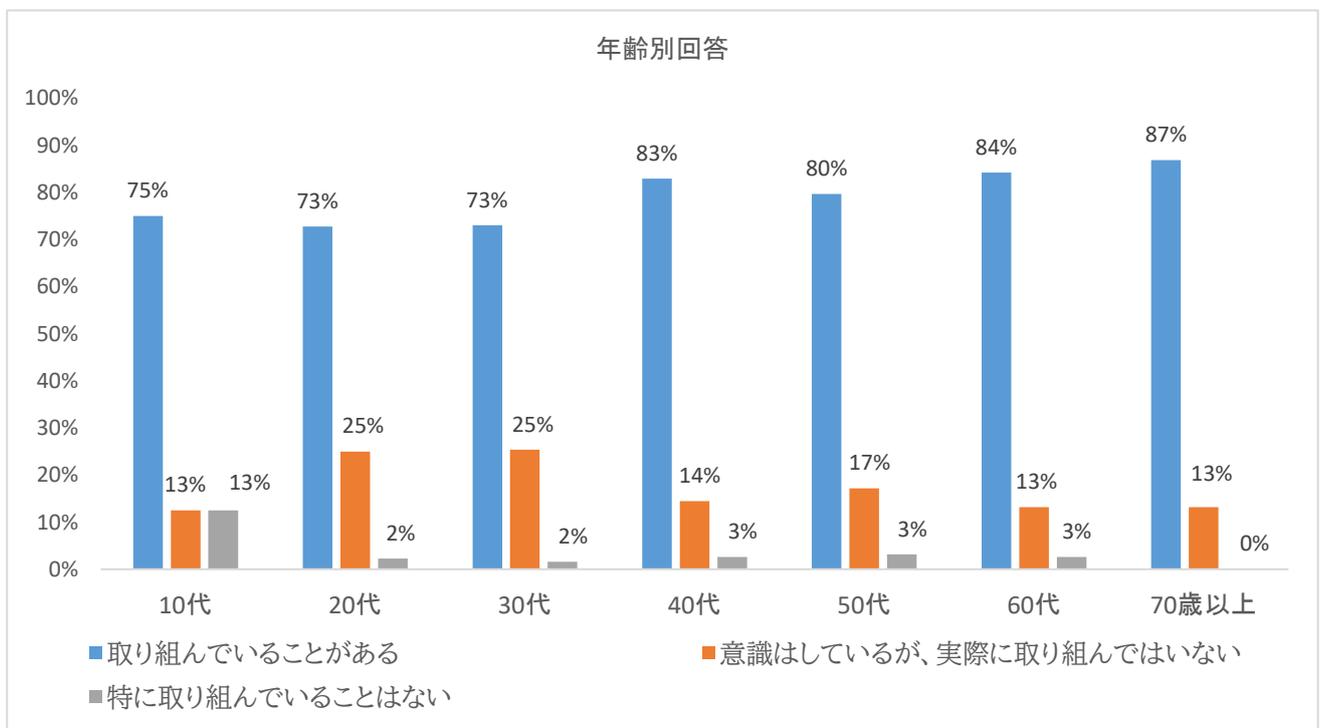
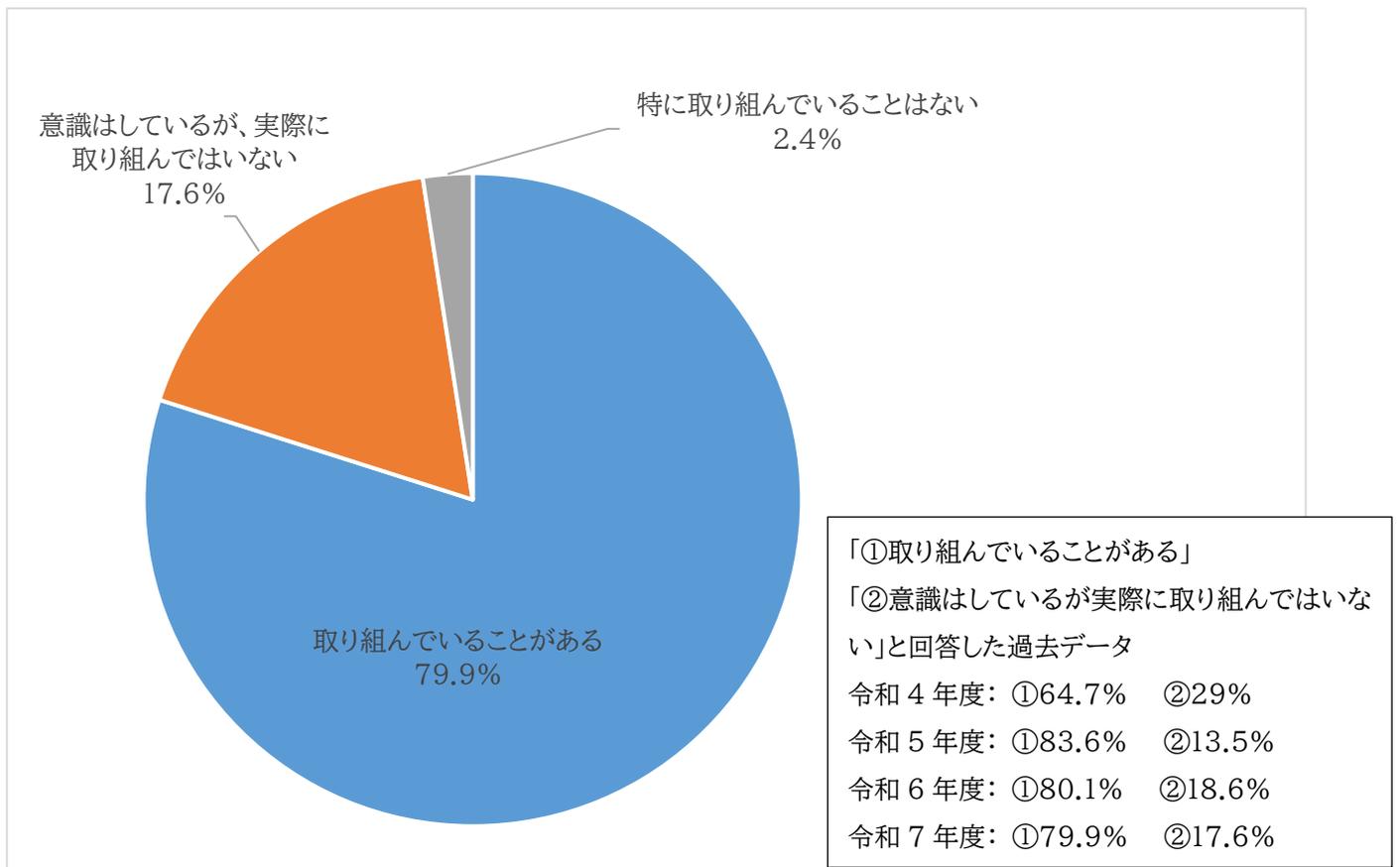
また、その意味を知っていましたか。次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。



- 「言葉を聞いたことがあり、意味も知っていた」と回答した割合は 96.7%で、昨年度より若干減少したものの高い水準を保っている。
- 「食品ロス（フードロス）」という言葉は、どの年代においてもある程度浸透しているといえる。

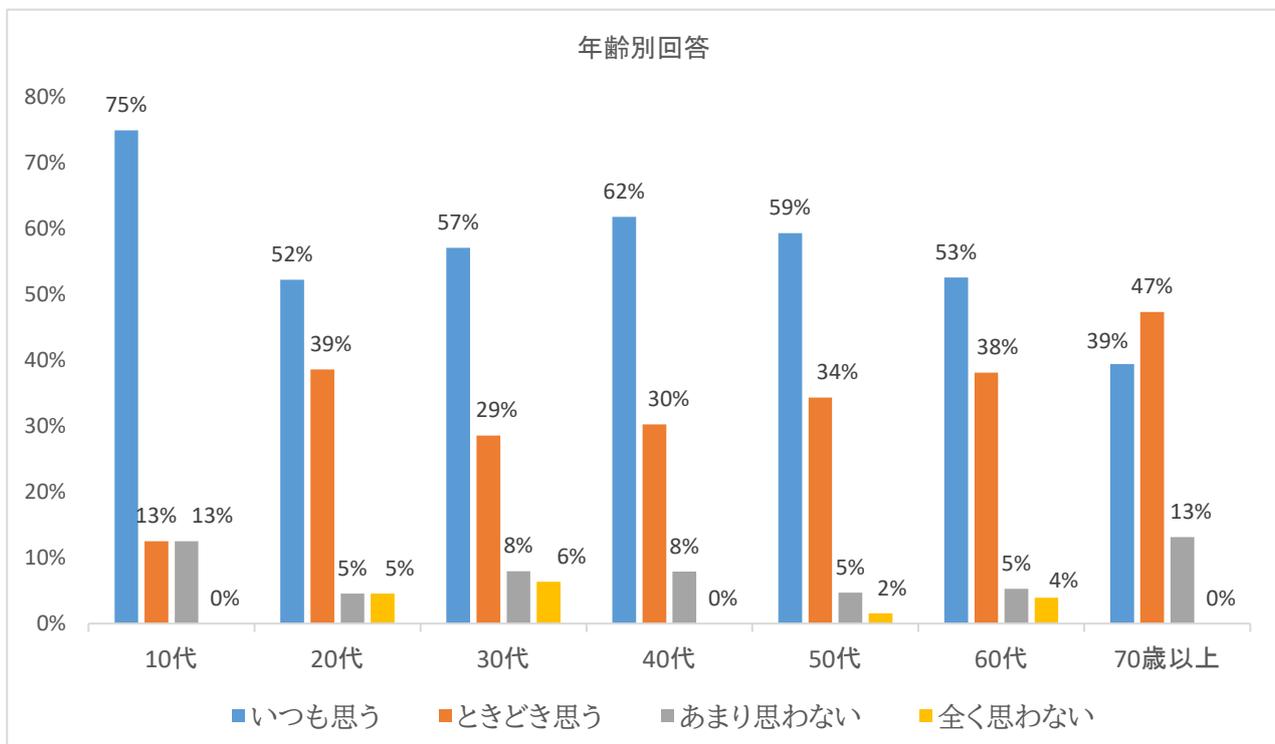
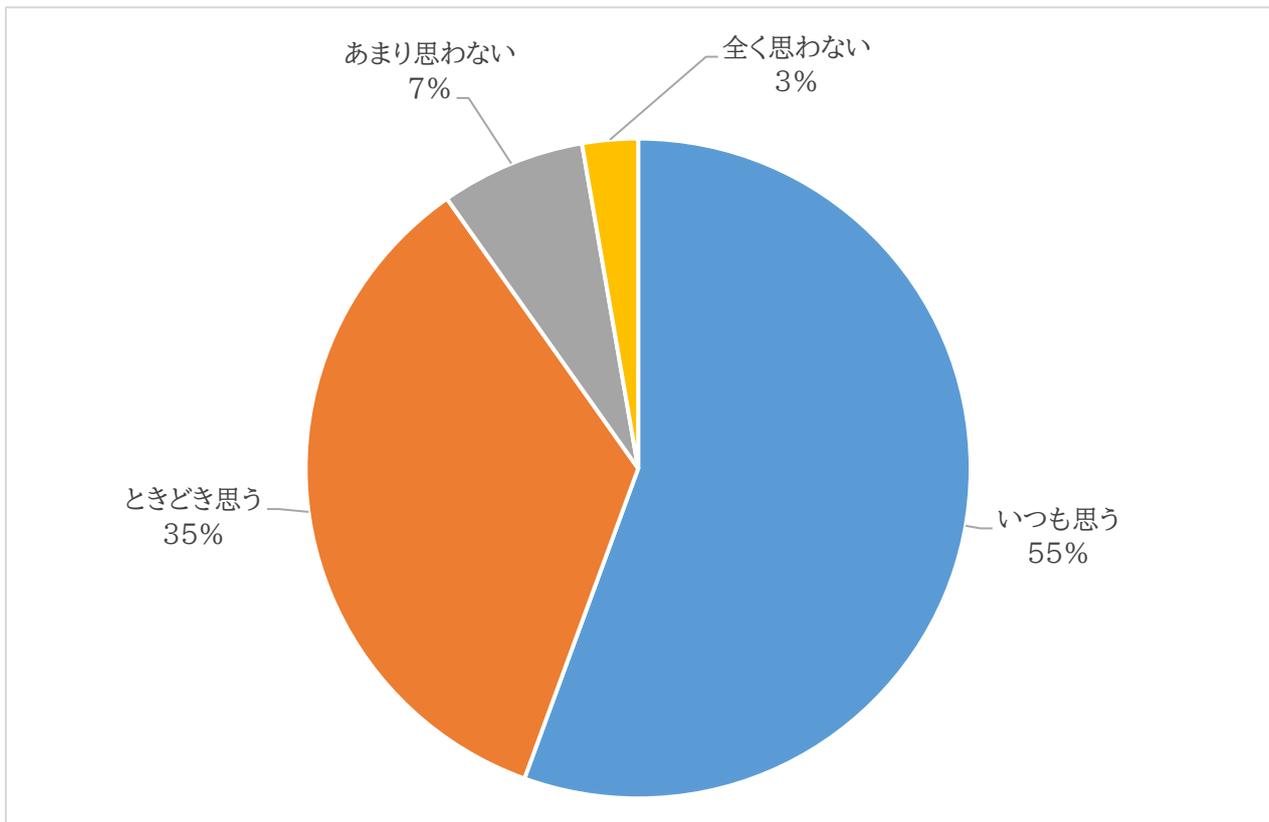
問2 実生活の中で、食品ロス削減に取り組まれていますか。

次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。(回答数：369)



- 「取り組んでいることがある」と回答した割合は、昨年度から微減し、79.9%となった。
- 「取り組んでいることがある」と回答した人の割合はどの年代においても1番高いが、10代から30代は、40代以上と比較すると低いことがわかる。

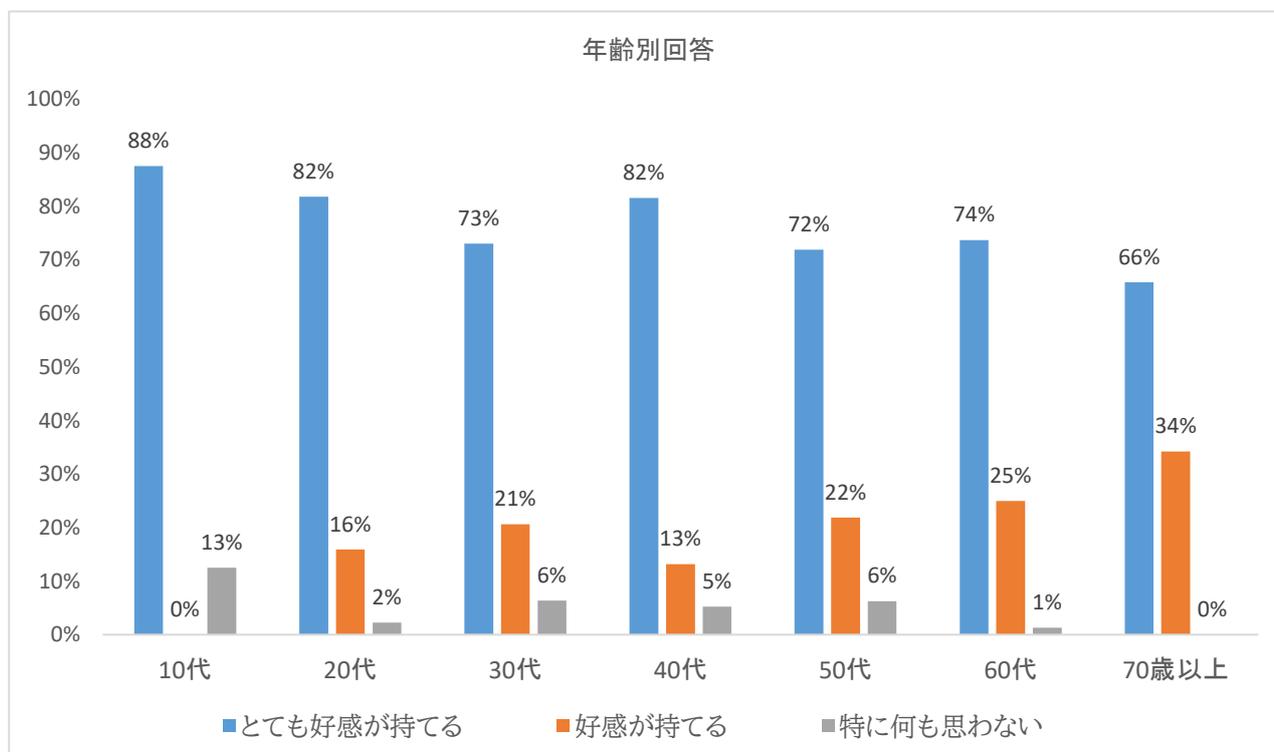
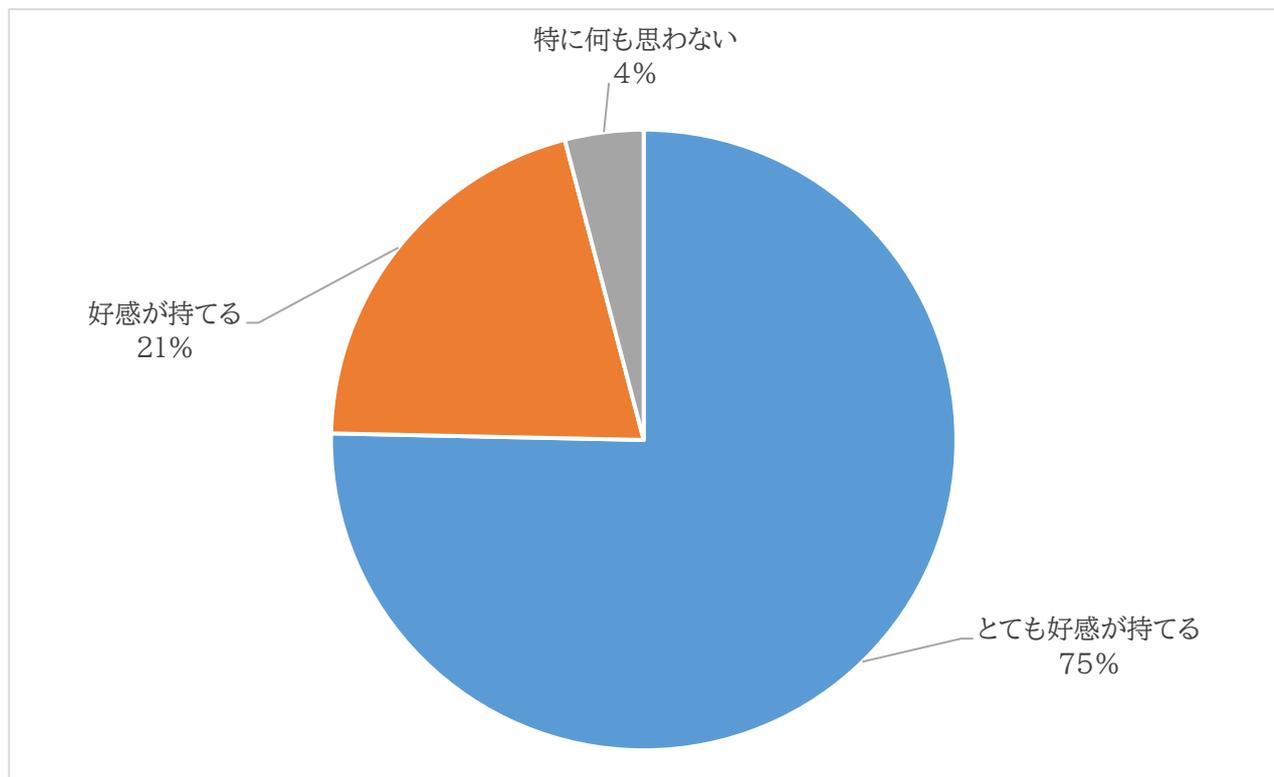
問3 飲食店でどうしても食べきれなかった料理を家に持って帰りたと思いますか。
次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。(回答数：369)



- 飲食店で食べきれなかった食品を持ち帰りたと思うと「いつも思う」、「ときどき思う」と回答した人の割合は90%を超えており、持ち帰りに対する意識が高いことが分かる。
- どの世代においても、食べきれなかった食品を持ち帰りたと思う人の割合が高いことがわかる。

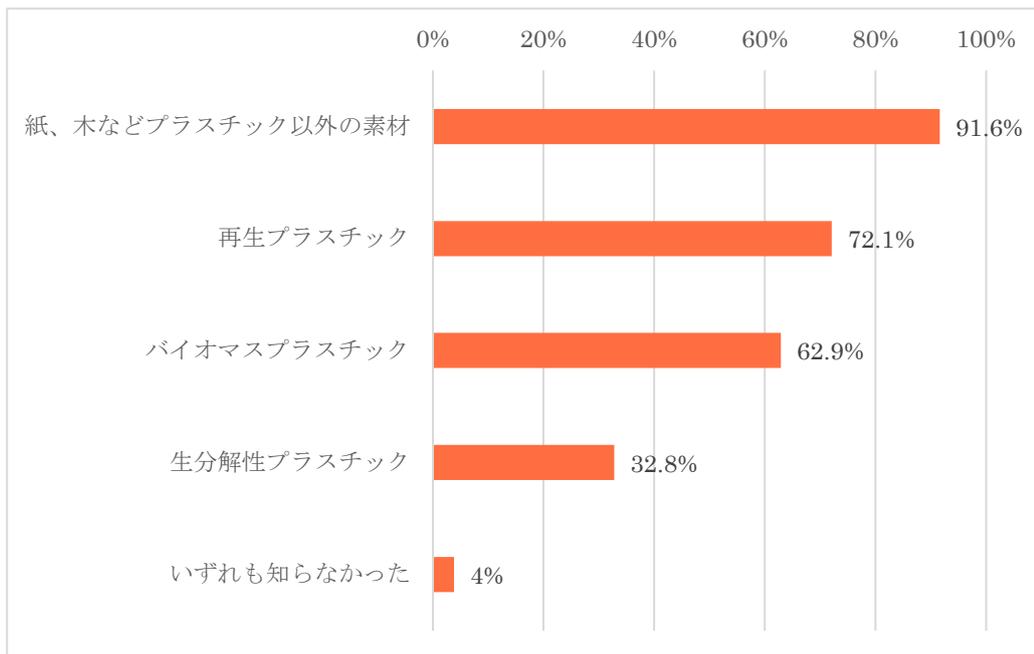
問4 食べ残しによる食品ロスを削減するため、持ち帰りに対応してくれる飲食店をどう思いますか。

次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。(回答数：369)



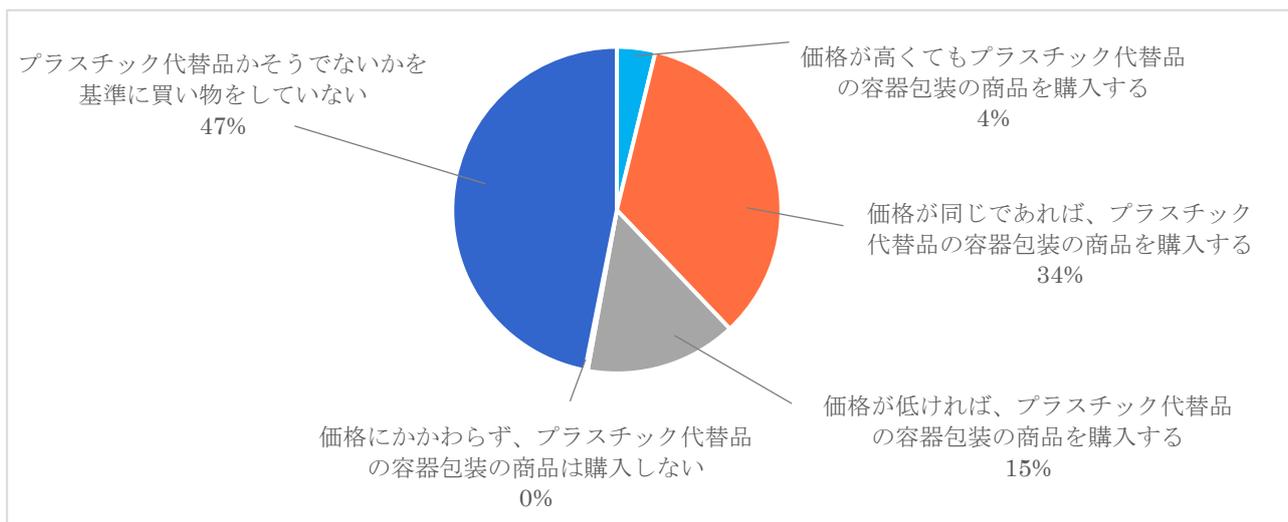
- 持ち帰りに対応する飲食店に好感を持つ人の割合は 95%を超えており、持ち帰りに対応する飲食店への消費者の評価は高いことが分かる。
- どの年代においても、持ち帰りに対応する飲食店に対して好感を持っていることが伺える。

問5 次に挙げたプラスチック代替品の中から、知っているものを【すべて】選んでください。
(回答数 : 369)



○紙や木など、身近にある素材については認知度が高い。
○バイオマスや生分解性など、素材の性質に由来した素材についても、一定程度認知されている。

問6 普段の買い物の際、商品自体は同じもので、商品の容器包装が石油から作ったプラスチックでできたものと問5で挙げたプラスチック代替品でできたものがあった場合、プラスチック代替品でできた容器包装の商品を購入する条件について、当てはまるものを【1つだけ】選んでください。
(回答数 : 369)



○「プラスチック代替品かそうでないかを基準に買い物をしていない」という回答が多い。
○一方で、「価格が高くてもプラスチック代替品の容器包装の商品を購入する」、「価格が同じであれば、プラスチック代替品の容器包装の商品を購入する」と4割近くの方が回答していることから、環境に配慮した代替品購入に前向きな方も一定程度いることが伺える。

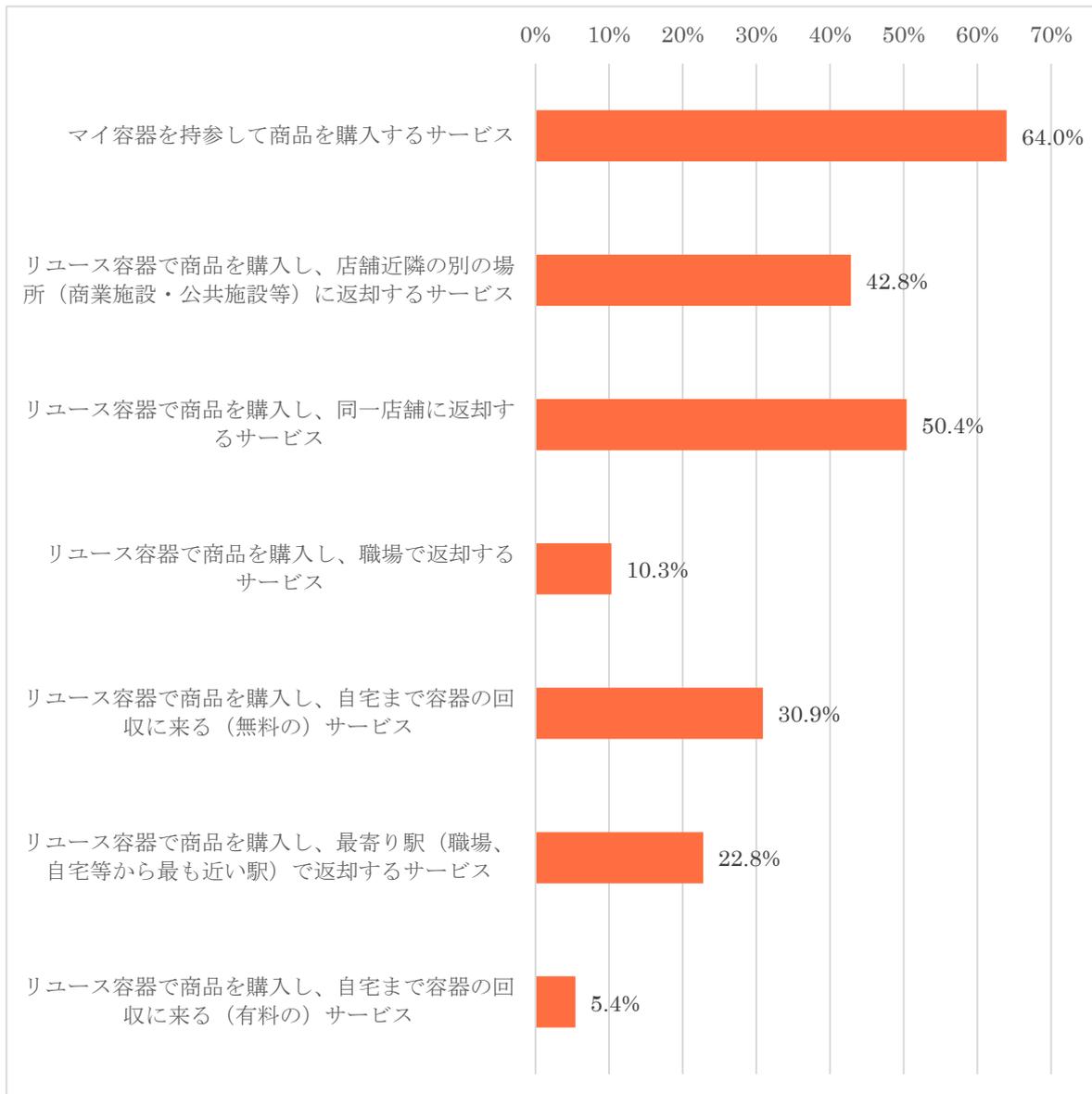
問7 プラスチックごみ削減に向け、使い捨ての容器に変えてリユース容器※を利用可能な店舗や、マイ容器を持参のうえ量り売りで購入する店舗が、近年改めて注目されています。

そこで、食品や飲料などの商品を購入する際、どのような容器や返却方法であれば利用したいと考えますか。以下のサービスについて、利用したいと思うものを【すべて】選んでください。

(回答数：369)

※リユース容器

本設問においては、洗浄により繰り返し利用が可能で、返却が必要な容器を指します（マイ容器は除きます）。



○マイ容器を持参して商品を購入するサービスは、返却が必要なリユース容器で商品を購入するサービスに比べ、受け入れられやすい。

○リユース容器で商品を購入するサービスの中では、「店舗近隣の商業・公共施設等に返却」、「同一店舗に返却する」といった方法は受け入れられやすく、4割以上の方が利用したいと回答している。